

謹賀新年



平成20年1月 市川商工会議所



年頭所感

市川商工会議所 会頭 片岡直公

平成20年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。平素より会員の皆さまには商工会議所の運営に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り衷心より感謝を申し上げますとともに、皆さまの事業のますますのご繁栄とご健勝を切にご祈念申し上げます。

昨年の役員改選にあたり、多くの会員の皆さまからご支持を賜り、再選いただきましたことは身にあまる光栄であり、改めて身の引き締まる思いでございます。

今後の会議所運営につきましては、私の方針でございます『会員の皆さまに親しまれ、信頼される会議所』となるため、この3年間、役職員一丸となって努力してまいりましたが、会員の皆さまから一定の評価をいただいているところでございます。今後もより一層の努力をしてまいります。

さて日本経済は、全体として一時の景気停滞から抜け出したとはいえ、国内消費は力強さに向け、大都市と地方、大企業と中小企業との間で格差がみられ、依然として地域経済や中小企業では厳しい状況が続いております。

さらには、最近では国内景気を支えてきた海外景気の動向にも不透明感が出てきております。

またわが国は、本格的な人口減少社会の到来、少子高齢化に伴う社会保障費の増大や内外経済の構造的な変化、地球環境問題などの難題に直面しております。

こうした中、日本経済の屋台骨を支える中小企業の経営を活性化し、中小企業全体の底上げを図りながら、元気な企業をさらに増やしていくことが必要不可欠であり、今後の日本経済の発展に繋がるものと確信いたします。

さらに、このような状況下で、地元唯一の地域総合経

済団体としての商工会議所の果たす役割はますます重く、その使命と責任も大なるものがあります。

地元中小企業が厳しい経営環境を克服し、活力ある成長と発展を遂げられるよう今後も積極的に支援していくため、さまざまな事業活動を展開し、地域総合経済団体としての使命を達成するとともに、地域商工業者の代弁者として、国および行政に対し諸要望の実現に向けて、全力を尽くす覚悟でございます

平成20年度の重点事業のうち最重点事業につきましては、まず市川商工会議所創立60周年を迎えるにあたり、新たに創立60周年記念事業特別委員会を設置し検討してまいります。

次に、一日も早く市内の交通環境を改善し地域経済の活性化につなげるため、外かん道路の早期開通に向け、民間でできるところは、市川・松戸市民会議を通じて協力してまいります。

また、10月には、市川市がWHO健康都市国際大会の主催地になることから、実行委員長として積極的に参加してまいります。

以上、最重点事業を掲げさせていただきましたが、いずれも会員の皆さまのご協力なくして目的を達成することはできません

会員の皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年が会員の皆さまにとってより良い年となりますことをご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



年 頭 所 感

市 川 市 長 千 葉 光 行

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと存じます。

日本経済は、バブル崩壊後の不況スパイラルから脱却したと言われますが、このバブル崩壊後の10年間の消費の低迷は、小売商業に大きな影響を与えたと指摘されています。

商店街の中小小売商などの対面販売が減少し、大型店やチェーンストアなどの販売が増加する傾向が見られ、特にコンビニエンスストアは寡占度が徐々に上昇してきているようです。

昨年(2018年)の第3四半期に財務省が発表した法人企業統計によりますと、ソフトウェアを含む全産業の経常利益は、前年同期比0.7%減で、原油や原材料の値上がりが大きく影響し、約5年ぶりのマイナスとなったということです。

地方行政においても、地方財政を取り巻く環境は依然として厳しく、このような厳しい環境の中で、総人口の減少や団塊の世代の大量退職など、社会の変化に適切に対応できる財政基盤をしっかりと作り上げていくことが求められています。

そうした中での市川市の平成20年度の財政の見通しは、歳入では自主財源と依存財源を合わせた歳入全体で前年度を上回る収入を見込んでいますが、本市の収入の根幹である市税収入は、景気の影響を直接受ける構造となっていることから、今後も自主財源の確保に向けて不断の努力が必要であると強く認識しております。

歳出につきましても、少子高齢化の影響で扶助費の伸びが予測され、情報システム再構築事業、小・中学校における冷暖房設備の導入などの物件費の増加が見込まれます。また、市川駅南口再開発事業、広尾防災公園整備事業などに対する支出額などが前年度に対して大幅な増加となる見込みであります。

さらに、平成20年度は、第二次総合3ヵ年計画の最終年度にあたり、第三次総合3ヵ年計画の初年度となりますが、目標の達成に向けた最終的な取り組みなど、歳出全般で大幅な増加が見込まれております。市民にとって真に必要な公共サービスを提供していくためには、更なる行政と市民との連携が必要不可欠であると考えております。

本市では、基本構想におけるまちづくりの基本理念のひとつに「協働による創造」をあげ、地域社会で活動するあらゆる主体が、様々な分野において、知恵を出し合い、お互いを高め合いながら、地域の力を創造していく市民との協働を実践し、専門的な知識や技術を持つ民間のノウハウを活用し、積極的な民間活力の導入を推進しております。

また、本年10月には、世界から多くの方々に参加していただき、「第3回健康都市連合国際大会」を市川市で開催いたしますが、市川市にとって有意義な大会となりますよう市川商工会議所会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

本年が会員の皆様にとって、より発展する年となることをご祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。



平成20年 知事年頭所感

千葉県知事 堂本 暁子

新年あけましておめでとうございます。

中小企業団体の皆様には、希望あふれるさわやかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日本経済は息の長い回復を続けていますが、中小企業の皆様からは、依然として、景気回復を実感できないとの声を耳にします。

加えて、昨年末にかけての原油価格の高騰や米国のサブプライム住宅ローン問題を背景とする金融資本市場の変動などから、中小企業を取り巻く環境に厳しさが増すとの見方も多く聞こえてくるようになってまいりました。

そうした中であっても、本県は中小企業者の皆様方と一緒に作り上げた「中小企業元気戦略」に基づき、中小企業の活性化と地域の活性化の好循環の実現を目指してまいります。具体的には、魅力ある地域資源を活用した新たな事業の取り組みを支援するとともに、まちづくりと一体となった商店街の活性化などに取り組み、地域を支えられている中小企業の皆様の「やる気」と「元気」を応援させていただきます。

また、観光については、「ちばデスティネーションキャンペーン」で盛り上がった機運を踏まえ、産業としてより確かなものへ発展させてまいります。

そのためには、環境や景観に配慮した観光資源の保全と利活用、広域的・面的な連携による取り組みが必要です。この取り組みをオール千葉県で永続的に強化するため、今年は、基本的な理念、各主体の役割などを定めた「(仮称)千葉県観光立県推進条例」を、県民や事業者の方々との意見交換を踏まえ、制定していきたいと考えております。

今年の子年。「子」は「ふえる」の意味で、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているとされています。中小企業の皆様におかれましても、ぜひ、新しい視点、新しい発想力の発揮により、創造性に富んだ事業を展開され、地域経済の担い手として、より一層御発展されますことを願っております。

結びに、本年が、皆様にとって、明るい年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新年あけまして おめでとうございます



市川商工会議所 副会頭 片岡 直公	市川商工会議所 副会頭 田嶋 誠	市川商工会議所 副会頭 佐久間 信夫	市川商工会議所 副会頭 石井 邦夫	市川商工会議所 副会頭 中村 政勝
市川商工会議所 顧問 千葉 光行	市川商工会議所 顧問 金子 和夫	市川商工会議所 顧問 猪狩 俊郎	市川商工会議所 顧問 米山 精次	市川商工会議所 顧問 佐藤 フジエ
市川商工会議所 顧問 長島 洋三	市川商工会議所 顧問 芝田 太市	市川商工会議所 顧問 宇田川 進	市川商工会議所 顧問 岡野谷 守利	市川商工会議所 参 与小島 武久
市川商工会議所 参 与 鈴木 衛	市川商工会議所 参 与 芝田 康雄	市川商工会議所 参 与 竹内 清海	市川商工会議所 参 与 稲葉 健一	市川商工会議所 参 与 鈴木 啓一
市川商工会議所 参 与 増田 三郎	市川商工会議所 専務理事 千坂 洋三郎	市川商工会議所 常務理事・ 事務局長 戸坂 幸二		

<p>啓成そるばん</p> <p>鈴木 啓一</p> <p>〇四七・三九七・六九六一</p>	<p>代表取締役</p> <p>松井 玲子</p> <p>市川市南八幡五・一七・二二 〇四七・三七七・二九一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤 泰寛</p> <p>市川市市川一・二三・九 〇四七・三二二・五五〇一</p>	<p>代表取締役</p> <p>青山 喜代志</p> <p>市川市湊新田一・一・一 〇四七・三五七・二五八一</p>	<p>代表取締役</p> <p>秋元 卓哉</p> <p>市川市国分二・八・二三 〇四七・三七四・〇一一三</p>
<p>所長</p> <p>花岡 英助</p> <p>市川市南八幡二・二一・一 〇四七・三七八・二六九一</p>	<p>代表取締役</p> <p>天野 一雄</p> <p>市川市大野町四・二四六三 〇四七・三三七・八九一九</p>	<p>代表取締役</p> <p>石井 寧男</p> <p>市川市南八幡一・八・一 〇四七・三七八・三〇一九</p>	<p>代表取締役</p> <p>石原 昌幸</p> <p>船橋市薬円台五・二・五 〇四七・四六三・一一一〇</p>	<p>代表取締役</p> <p>和泉 匡英</p> <p>市川市大野町四・二四五二 〇四七・三三七・七三三一</p>
<p>店主</p> <p>渡辺 広邦</p> <p>市川市国分二・二・一九 〇四七・三七二・九九六七</p>	<p>会長</p> <p>宮崎 廉平</p> <p>市川市八幡一・二・二〇 〇四七・三三三・〇一一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>石井 邦夫</p> <p>市川市田尻二・一一・二五 〇四七・三七六・一七一</p>	<p>代表理事</p> <p>小泉 勉</p> <p>市川市北方町四・三三二二 〇四七・三三九・一一一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>市川 正夫</p> <p>市川市菅野五・三・二八 〇四七・三二一・一一六六</p>
<p>代表取締役</p> <p>田平 和精</p> <p>市川市市川一・四・一〇 〇四七・三二五・二二八一</p>	<p>代表取締役</p> <p>山崎 敬生</p> <p>市原市青柳二・一・二三 〇四三六・二一・八一〇〇</p>	<p>代表</p> <p>角能 奈緒美</p> <p>市川市南八幡四・二五・一六四〇四 〇四七・三七九・〇五五六</p>	<p>支店長</p> <p>鈴木 等</p> <p>船橋市湊町二・六・三三 〇四七・四三五・一一三二</p>	<p>代表取締役</p> <p>中村 政勝</p> <p>市川市八幡三・六・一 〇四七・三二三・三八三三</p>
<p>代表取締役</p> <p>長島 仁一</p> <p>市川市若宮三・四三・一八 〇四七・三三四・四一六八</p>	<p>代表取締役</p> <p>岡野谷 健仁</p> <p>市川市宮久保三・三五・八 〇四七・三七一・五三三三</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤 憲一</p> <p>市川市市川二・四・九 〇四七・三二六・六一〇九</p>	<p>代表取締役</p> <p>金子 晃典</p> <p>市川市市川一・六・一四 〇四七・三二二・二四二〇</p>	<p>代表取締役</p> <p>北澤 徴</p> <p>市川市南大野三・二二・三 〇四七・三三八・七七二二</p>
<p>代表取締役</p> <p>北川 善剛</p> <p>市川市八幡四・一七・二六 〇四七・三三五・五七五四</p>	<p>代表取締役</p> <p>田村 和一</p> <p>市川市八幡二・七・六 〇四七・三三五・四九九八</p>	<p>取締役社長</p> <p>佐久間 信夫</p> <p>市川市市川南二・八・八</p>	<p>代表取締役</p> <p>大畑 勝高</p> <p>市川市市川南二・七・二 〇四七・三二四・五九七七</p>	<p>代表取締役</p> <p>中村 政邦</p> <p>市川市新田五・四・四 〇四七・三二六・五九五一</p>

代表取締役 社長 後藤 守宏 市川市田尻二、四、一八 〇四七・三七〇・一七八九	代表取締役 社長 後藤 晃司 市川市南八幡四、九、五 みづほビル2F 〇四七・三七八・三三四七	代表取締役 飯沼 俊雄 市川市南八幡四、一五、二二 〇四七・三七八・五一一一	代表取締役 佐藤 智枝子 市川市市川一、一七、一四 〇四七・三二二・二六六八	代表取締役 綿引 勝一 市川市市川一、七、一三 〇四七・三二五・〇一一一
取締役 総支配人 城 安雄 市川市八幡三、一九、三 〇四七・三二二・三七四一	代表取締役 松丸 幸一 市川市八幡二、一、三 〇四七・三三六・四五〇〇	代表取締役 社長 高橋 村吉 市川市市川一、七、一三 〇四七・三二一・二〇五五	代表取締役 越永 雄一 市川市須和田一、一、六 〇四七・三七二、一一五一	代表取締役 鈴木 宏尚 市川市真間二、一五、二二 〇四七・三二二、八一、一一
代表取締役 社長 片岡 直公 東京都中央区日本橋浜町一、一、二二 〇三、三三八六二、三三二二一	代表取締役 社長 松永 光正 東京都港区芝四、四、一一 〇三、三三四五三、五一、一一	代表取締役 社長 梅野 節也 梅野 緑 市川市市川一、二六、一六 〇四七・三二六、六一、一六六	代表取締役 竹内 清海 市川市曾谷一、二〇、二二 〇四七・三七二、四八、二九	代表取締役 北川 佐多雄 市川市八幡二、三、二二 〇四七・三三五、八八、八五
理事長 原田 嘉中 市川市国府台一、三、一 〇四七・三七二、四一、一一	支部長 八代 勝 市川市南八幡三、一二、二二 M C 本八幡ビル2階 〇四七・三一四、六七、〇〇	代表取締役 社長 塚本 眞巳 市川市新田一、一〇、三 〇四七・三二二、五七、二五	代表取締役 社長 塚本 福二 市川市新田五、八、二七 〇四七・三二二、一一、三一	代表取締役 土谷 幸司 市川市八幡二、一四、一四 〇四七・三三四、四三、二四
代表取締役 社長 田嶋 誠 市川市市川一、九、二 サンブラザ35ビル 〇四七・三二二・〇〇〇一	代表取締役 社長 河野 純生 市川市市川南三、一四、三七 〇四七・三二四、八八、〇〇	代表取締役 社長 岸 邦樹 市川市市川一、二二、三八 〇四七・三二六、一一、二四	代表取締役 佐藤 信廣 市川市新田三、一八、九 〇四七・三七〇、二五、五二	代表取締役 山下 清俊 市原市青柳北一、二、一 〇四三六、二二、二〇三一
代表取締役 木村 正輝 市川市上妙典一六〇三 〇四七・三二七、八〇、八〇	代表取締役 鈴木 宣 市川市市川一、二四、五 〇四七・三二二、二〇、七一	代表取締役 富川 幹夫 市川市堀之内一、二〇、一 〇四七・三七二、七二、一〇	代表取締役 中臺 實 市川市本塩二、一、三 〇四七・三五七、二〇、六一	代表取締役 中塚 吉明 市川市須和田一、二二、二五 〇四七・三九九、三五、七〇

<p>代表取締役 会 長</p> <p>中野 栄吉</p> <p>市川市市川南四・八・一四 〇四七・三二四・三三〇一</p> <p>(株)中野工務店</p>	<p>代表取締役</p> <p>中山 忠三</p> <p>市川市大和田四・一九・八 〇四七・三七八・三二二六</p> <p>(株)中山運輸</p>	<p>代表取締役</p> <p>南雲 勝利</p> <p>市川市原木二・一・一五 〇四七・三二七・四四八〇</p> <p>ナグモ産業(株)</p>	<p>支店長</p> <p>中村 一弘</p> <p>市川市市川一・六・一九 〇四七・三二一・三八一一</p> <p>野村證券(株)市川支店</p>	<p>代表取締役</p> <p>高石 治一郎</p> <p>市川市本行徳九・一九 〇四七・三五八・五七七二</p> <p>ハイストン商事(株)</p>
<p>代表取締役</p> <p>菱 孝</p> <p>市川市東浜一・二・四 〇四七・三二七・五八六〇</p> <p>(株)ハイパーサイクルシステムズ</p>	<p>代表取締役</p> <p>林 泰宏</p> <p>市川市市川四・八・一三 〇四七・三七二・〇一三一</p> <p>(株)林屋</p>	<p>代表社員</p> <p>原 俊</p> <p>市川市北方一・一六・六 〇四七・三三三・六六六六</p> <p>税理士法人 原会計事務所</p>	<p>代表取締役</p> <p>福田 雅夫</p> <p>市川市南八幡二・二二・一六 〇四七・三七〇・八一三四</p> <p>(株)福田工務店</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤 金蔵</p> <p>市川市市川一・二一・七 クレール市川二〇一 〇四七・三二一・〇五五七</p> <p>フジカ建設(株)</p>
<p>代表取締役 会 長</p> <p>青山 正</p> <p>市川市行徳駅前二・一七・五 〇四七・三五七・四七八〇</p> <p>藤屋商事(株)</p>	<p>代表取締役 社 長</p> <p>原 一公</p> <p>市川市八幡二・五・二 〇四七・三三四・三三三一</p> <p>(株)八幡二葉屋 子供服 ふたば</p>	<p>社会保険 労務士</p> <p>古川 允通</p> <p>市川市市川一・二・八・三〇一 〇四七・三二一・二二七九</p> <p>古川社会保険労務士事務所</p>	<p>取締役 工場長</p> <p>土田 道夫</p> <p>市川市大洲三・二一・一 〇四七・三七八・〇一〇一</p> <p>北越製紙(株)関東工場</p>	<p>代表取締役 会 長</p> <p>畝本 昌介</p> <p>市川市八幡四・二二・一九 〇四七・三三四・一〇七〇</p> <p>(株)補生堂ファルマ</p>
<p>取締役社長</p> <p>三浦 祝子</p> <p>市川市八幡二・一・一四 〇四七・三三三・〇二七三</p> <p>みつら商事(株) 割烹みつら</p>	<p>代表取締役</p> <p>水野 茂</p> <p>市川市国府台四・六・二一 〇四七・三七二・〇一一一</p> <p>(有)水野運輸</p>	<p>取締役</p> <p>羽田 安雄</p> <p>市川市市川南一・七・八 〇四七・三二二・四三六五</p> <p>(有)南口不動産</p>	<p>代表取締役 社 長</p> <p>村岡 実</p> <p>市川市南八幡四・六・五 ラファイネ市川一F 〇四七・三七八・七七四六</p> <p>村岡ゴム工業(株)</p>	<p>店 主</p> <p>大塚 洋一</p> <p>市川市市川三・二七・二〇・一〇一 〇四七・三二二・五七五三</p> <p>御菓子司 望月</p>
<p>代表取締役</p> <p>森井 康夫</p> <p>市川市南八幡二・一六・二〇 〇四七・三七八・二四二四</p> <p>森井運送(有)</p>	<p>代表取締役 会 長</p> <p>佐藤 フジエ</p> <p>千葉市美浜区ひび野一・一一 〇四三・二九六・三一一一</p> <p>山形屋商事(株) ホテルスプリングス幕張</p>	<p>代表取締役 常務 務 務</p> <p>西村 貞則</p> <p>市川市市川一・九・二 〇四七・三二四・三三六一</p> <p>(株)ヤマザキ</p>	<p>代表取締役 社 長</p> <p>山中 右次</p> <p>市川市八幡四・一・六 〇四七・三三二・五五一五</p> <p>山中軽金工業(株)</p>	<p>代表取締役 社 長</p> <p>木下 邦久</p> <p>千葉市美浜区中瀬二・六 WBGマリブイスト一五F 〇四三・二九七・七九〇〇</p> <p>(株)ユニリピング</p>
<p>代表取締役 社 長</p> <p>米山 精次</p> <p>市川市鬼高三・二八・一六 〇四七・三七〇・一一一一</p> <p>(株)米山鉄工所</p>	<p>代表取締役</p> <p>若張 則男</p> <p>市川市南八幡四・七・一二 ラ・パシフィックB 1 〇四七・三七〇・一二三四</p> <p>(有)ワカハリ(鮎文)</p>			



『個』が光るイノベーションの実現にむけて ~人・企業・地域のあらたな創造~

日本商工会議所 会頭 岡村 正

平成20年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

『個』の輝きが日本経済の活力向上に

わが国経済は、全体としては堅調に推移しており、大変喜ばしく思っております。しかし、消費は依然として弱く、原油や素材価格の上昇をはじめ、米国・中国等の海外経済の動向など、先行きに対する不安材料も少なくありません。また、地域経済や中小企業においては、いまだに景気回復を実感できないところが多く、地域間の格差も目立ってきているのが現実であります。

一方、経済・社会の両面において、わが国はかつてない構造変化に直面し、少子・高齢化対策、財政再建、社会保障制度改革など大きな課題を抱えております。

こうした中、日本経済が早期にデフレから脱却し、持続的な経済成長を実現するためには、経済の根幹を支える中小企業を活性化し、中小企業全体の底上げを図りながら、元気な企業をさらに増やしていくことがまずもって重要であります。

私は、先の会頭就任にあたり、「『個』が光るイノベーション」をスローガンに掲げました。私の提唱するイノベーションとは、技術革新という狭義の意味ではなく、経営手法や行政のあり方を含め広く経済社会全般に通じる改革であり、言い換えれば「勇気ある挑戦」であります。ひとつ一つの企業とそこに働く一人一人の社員、そしてそれぞれの地域が自らの特性を活かしながら、持てる力を十分に発揮して、絶え間なくイノベーションに挑戦していく気概がいま求められていると思います。個別の企業、個別の地域によって抱えている課題は異なりますが、それを乗り越えて目標を達成したときにこそ、企業も地域も輝くことができ、自由で活力にあふれた経済社会が構築されると確信しております。

勇気ある挑戦を応援

21世紀の経済社会では、個人の持つ価値観やニーズの多様化、人・物・サービスの国際移動の活発化などにみられるように、環境変化が激しくかつ急速であり、事業形態のあり方も大きく変化を迫られております。さらに、デジタル化、ネットワーク化の時代の潮流にしっかりと対応しなければ、

今日の企業経営は成立しないといっても過言ではありません。こうした変化する時代に対応するには、イノベーションが不可欠です。わが国企業数の99.7%、従業員数の約7割を占める中小企業が、イノベーションを起こし、日々の経営を革新し、経営の現場を改善することが、ひいては地域全体の活性化に繋がります。当然ながら、個々の勇気ある挑戦が実現するよう、企業や地域を支援する立場にある商工会議所自身においても、きめ細かく、総力をあげてイノベーションに取り組まなければなりません。

全国の声を提言、企業と社会をむすぶ

商工会議所は、あらゆる規模・業種を通じた多くの会員で構成されています。そうしたさまざまな会員から寄せられる多様で多面的な意見や要望、そしてアイデアを、常に個々の会員の視点に立ってくみ上げることにより、地域に密着し柔軟な調整力を持った唯一無二の「地域総合経済団体」としての役割を担ってきました。

商工会議所の創立者である渋沢栄一翁の思いは「商工業者の声を集約し社会に訴える、そして企業と社会をむすぶ」。これが創立以来一貫した商工会議所の使命であり、また私が常日頃、そして日々新たに心に念じていることでもあります。現在、まちづくりや地方幹線道路等の整備促進、事業継承問題など、商工会議所が取り組んでいる政策課題は多岐にわたっております。今後とも、全国の商工会議所の力を結集して、国や自治体が行き届くべき施策を積極的に提言してまいります。

魅力ある地域づくり、希望に満ち活気あふれる日本の未来を待ち望み、願う気持ちは国民全て皆同じであります。本年は、全国517商工会議所、143万会員それぞれが、独自の強みを存分に発揮し、「個が光る」活動をわが国のいたるところで展開していくスタートの年であると思っています。このため、商工会議所は常に先頭に立ち、そして中心となってこの目標の実現に全力を尽くしてまいります。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げまして年頭のごあいさつといたします。